

【此花区】地域活性化支援事業にかかる受託者等の評価結果について（令和6年度）

1 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の実績等

評価項目

- ・地域課題やニーズを把握し、これに対応するために安定継続的に活動が行われている

評価	左記の理由
B	・地域活動協議会事業の円滑な運営を進めていくための各種の相談対応や、地域での事例共有など、有効な支援が行われていた。 ・「地域コミュニティに関するアンケート」を実施し、住民の活動参加状況や地活協の認知度を数値として把握したことにより、今後の活動方針に活かすことができた。

2 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の実績等

評価項目

- ・イベント等の取組に、これまで地域活動に関わりの薄かった住民の参加が促進され、地域住民同士のつながりが拡大している
- ・地域活動協議会を構成する活動主体同士や、地域活動協議会と他の活動主体との連携・協働が促進されている

評価	左記の理由
C	・地域活動における各種オンラインツールの利用を進めるための支援を行ってきた。ただし、区内全域への普及には更なる取組みの継続が必要とされる。 ・新たな担い手の発掘や、更なる企業・団体等の地域活動協議会への参画を目指していることから、地域の企業と連携し、小学生が作成した年賀状を地域の福祉施設へ届けることで、地域連携の促進に向けた有益な機会を設けることができた。ただし、具体的な担い手の確保や持続的な連携の実現に向けては、今後も経過を追い、効果を見極める必要がある。

3 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の実績等

評価項目

- ・民主的で開かれた組織運営と会計の透明性が確保されている

評価	左記の理由
B	・補助金等会計説明会の開催や、細やかな相談対応、また、新たに取扱いが開始された地域活動経費にかかるキャッシュレス決済制度の円滑な運用に向けた支援など、会計実務のスキル底上げに努めるとともに、透明性を確保するための支援が行われた。 ・各地域別の補助金予算申請・決算（精算）報告書類の作成支援においては、更なる対応力の向上に期待したい。

4 「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の実績等

評価項目

- ・地域の現状を熟知し、その状況に即した支援が行われている

評価	左記の理由
B	・ラウンドテーブルを開催し、地域住民が自由に意見交換できる場を設けたことにより、地域の課題やニーズを直接把握することができた。 ・新たな担い手の発掘を目的として「こども記者からまちづくり」を実施し、子どもや子育て世代が地域活動に関心を持つきっかけを提供した。

5 総合評価

評価	左記の理由
B	・「ラウンドテーブル」や「こども記者プロジェクト」など、新たな人材の獲得に向けた新規取組みが進められた点は評価ができる。今後とも一層、人材発掘やICTの活用促進などによる、各地域のつながり拡充や、自律的かつ継続的な活動を推し進めていくための支援展開に期待する。 ・各種支援事業の実施にあたって、年間を通じたスケジュールに遅延も見受けられたため、支援の方向性や進捗度を明確化しながら更なる取組みを進められたい。

(評価基準)

- S：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。
- A：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。
- B：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。
- C：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。